



記者発表資料

おそざわがわ

R3遅沢川付替道路工事において「公募型指名競争入札方式(総合評価落札方式)」「余裕期間制度(フレックス)」「CCUS活用工事(受注者希望方式)」「地域防災実績評価型」を試行します。併せて「難工事指定」を採用いたします。

今回発注する「R3遅沢川付替道路工事」については、より多くの企業に参加していただきたく、「公募型指名競争入札方式(総合評価落札方式)」「余裕期間制度(フレックス)」「CCUS活用工事(受注者希望方式)」「地域防災実績評価型の試行」、「難工事指定」を採用します。

- ①「公募型指名競争入札方式(総合評価落札方式)」の試行
競争参加者が少数と見込まれる工事について、対象工事ごとに技術資料収集に係る公示資料の交付を受けて、競争参加希望者が参加表明確認申請書及び技術資料(参加要件は企業のみとして技術者要件は求めない。)を提出し、指名基準による選定を行い、指名された競争参加希望者により総合評価落札方式で落札者を決定するものです。なお、総合評価は、災害活動実績及び賃上げの実施を加算点としています。
- ②「余裕期間制度(フレックス)」
受注者の円滑な工事施工体制の確保を図るため、事前に建設資材、労働者確保等の準備を行うことができる余裕期間を設定する制度です。
- ③「CCUS活用工事(受注者希望方式)」
受注者の自主的なCCUS活用の取り組みの評価を、指標毎の目標基準の達成状況に応じて工事成績評定で加点するものです。
- ④「地域防災実績評価型」
企業における防災に関わる活動実績について高く評価するものです。
- ⑤「難工事指定」
工事を適切に完成させた場合、その後の発注工事における総合評価項目「難工事施工実績評価対象工事(試行)」を加点対象とする「難工事指定」を採用します。

発表記者クラブ

竹芝記者クラブ、神奈川建設記者会、刀水クラブ・テレビ記者会、渋川記者クラブ

問い合わせ先

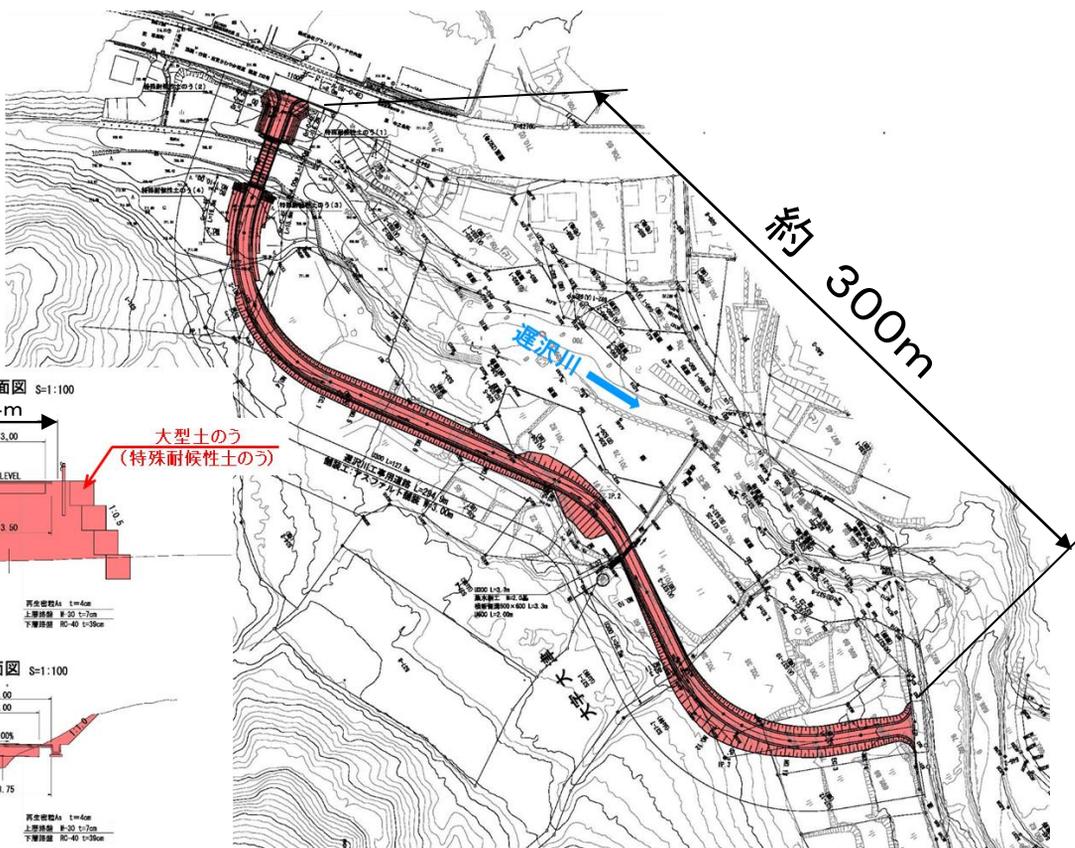
国土交通省	関東地方整備局	利根川水系砂防事務所
電話	0279-22-4177(代表)	
	副所長	こしま ひろかず 小島 宏一
	工務課長	のむら としゆき 野村 利幸

《工事概要》

おそざわがわ

- (1) 工事名 : R3遅沢川付替道路工事
- (2) 工事場所 : 群馬県吾妻郡長野原町大字大津地先
- (3) 工期 : 契約締結の翌日から令和5年1月31日まで
- (4) 入札方式 : 公募型指名競争入札方式（総合評価落札方式）
- (5) 工事種別 : 一般土木工事 C
- (6) 工事内容 : 工事用道路 約300m
 土工 一式 盛土工 460m³
 掘削工 2,400m³
 残土処理約 2,280m³ L=16.9km
 法面工 植生シート 約1,020m²
 舗装工 表層 約1,000m²
 橋梁工 橋長L=14m
 支持杭 (H300×300(SS400)) 左岸L=8.5m 3本
 右岸L=6.0m 3本
 土留杭 (H400×400(SS400)) 左岸L=11.0m 6本
 (H350×350(SS400)) 左岸L=8.0m 6本
 擁壁工 (特殊耐候性土のう) 250個 (φ1100×1100)
 排水構造物工 一式
 仮設工 一式

平面図



《余裕期間制度（フレックス）の試行について》

本工事は、受注者の円滑な工事施工体制の確保を図るため、事前に建設資材、労働者確保の準備を行うことができる余裕期間を設定した工事であり、令和5年1月31日までの間で、受注者は工事の始期及び終期を任意に設定することができます。

なお、工期の始期までの余裕期間内は、監理技術者等の配置が不要となります。

《地域防災実績評価型の試行について》

本工事は、災害協定の締結や活動に係るインセンティブの向上、災害活動実績がある企業の技術力向上に向けた受注機会の確保を目的として、企業における防災に関わる活動実績について高く評価する試行です。

《難工事指定について》

「難工事」指定された工事は、完成時に70点以上の工事成績評定を通知された場合、今後発注される「難工事施工実績評価対象工事（試行）」の総合評価の評価項目において加点対象となります。また、加点対象となる期間は、審査基準日の月以前の1年間に元請けとして、完成・引き渡し完了した施工実績が加点対象となります。

また、主任（監理）技術者または現場代理人として従事した経験について、審査基準日の月以前の4年間を評価対象となります。

《スケジュール》

- 入札公示、入札説明書 交付 : 令和4年 5月19日（木）
- 競争参加資格確認申請書、資料 提出期限 : 令和4年 5月30日（月）
- 入札書・工事費内訳書 提出期限 : 令和4年 6月24日（金）
- 開札日 : 令和4年 6月29日（水）

概略工事工程表
工事名：R3遅沢川付替道路工事

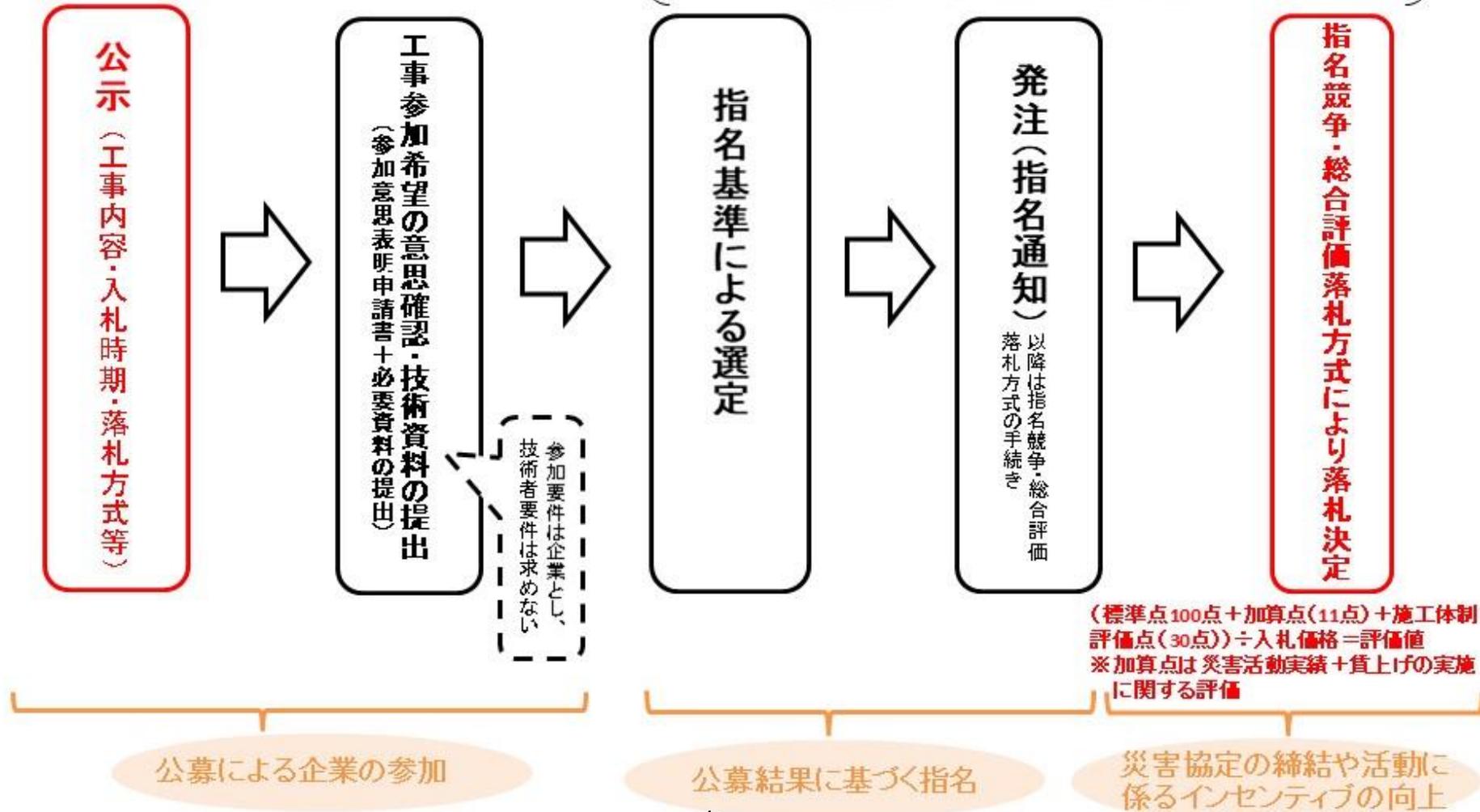
費目・工種	単位	数量	令和4年度							備考	
			7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月		
準備	式	1									・40日間
道路土工	式	1									・掘削工(1pt)、路体盛土工(1pt)、路体盛土工(1pt)、法面整形工(1pt)
法面工	式	1									・植生工(1pt)
舗装工	式	1									・アスファルト舗装工(1pt)
橋梁工	式	1									・付替道路橋(1pt)
擁壁工	式	1									・作業土工(1pt)、大型土のう工(1pt)
排水構造物工	式	1									・作業土工(1pt)、側溝工(1pt)、集水渠・マンホール工(1pt)
防護構工	式	1									・路側防護構工(1pt)
後片付け	式	1									・20日間
関連工事（前工事）	—	—									
関係機関協議	—	—									
住民合意	—	—									
用地確保	—	—									
法定手続き	—	—									
支承物件の移設	—	—									
年末年始、お盆	—	—									8月中旬 年末年始(12月下旬～1月上旬)
出水機関	—	—									
路上工事抑制	—	—									

《余裕期間制度（フレックス）の活用について》
本工事は、受注者の円滑な工事施工体制の確保を図るため、事前に建設資材、労働者確保等の準備を行うことができる余裕期間を設定した工事であり、発注者があらかじめ設定した全体工期（余裕期間と工期を合わせた期間）の内で、受注者は工事の始期と終期を任意に設定することができます。
なお、工事の始期までの余裕期間は、監理技術者等の配置が不要となります。

公募型指名競争入札方式(総合評価落札方式)の試行について

【メリット】

- ✓ 施工体制確保→発注工事の公募
- ✓ 資料は参加希望の意思確認時のみの提出
→資料の簡素化、合理化(個別発注時では不要)
- ✓ 手続期間の短縮
→指名通知から決定まで2週間程度
- ✓ 指名競争・総合評価落札方式
→災害協定の締結や活動に係るインセンティブの向上



1. 試行内容

受注者が工事着手前に自主的に建設キャリアアップシステム（CCUS）の活用に取り組む旨を希望した場合は、下表のとおり3つの指標（以下、「3指標」という）の最低基準及び目標基準を指定し、指標の取り組みの達成状況に応じて工事成績評点において加点を行います。

指標	最低基準	目標基準
平均登録事業者率	70%	90%
平均登録技能者率	60%	80%
平均就業履歴蓄積率	30%	50%

2. 施工段階

受注者が工事着手前に自主的にCCUSの活用に取り組む旨を希望した場合は、特記仕様書に定めた時期に、受注者から3指標の取り組み状況の報告を求めます。

3. 工事成績評定（工事完成検査／成績評定時）

受注者が工事着手前に自主的にCCUSの活用に取り組む旨を希望した場合は、下記のとおり3指標の達成状況に応じて工事成績評点で加点を行います。

- ① 受注者が3指標全てにおいて目標基準を達成した場合は1点加点
⇒ 考査項目別運用表 「5. 創意工夫」「その他」で加点
- ② 上記①に加え、平均登録技能者率90%以上を達成した場合は同考査項目でさらに1点加点（①と②で合計2点加点）

なお、受注者が3指標いずれかにおいて最低基準を達成しなかった場合は、工事完成検査終了後に受注者から工事名、未達成の項目、要因及び改善策の報告を求めます。

※3指標の最低基準及び目標基準、工事成績評定は、「CCUS活用推奨モデル工事」と同様です。



- 「建設キャリアアップシステム」は、技能者の資格、社会保険加入状況、現場の就業履歴等を業界横断的に登録・蓄積する仕組み
- 若い世代にキャリアパスと処遇の見通しを示し、技能と経験に応じ給与を引き上げ、将来にわたって建設業の担い手を確保し、ひいては、建設産業全体の価格交渉力を向上させるもの
- また、労務単価の引き上げや社会保険加入の徹底といった、これまでの技能者の処遇改善の取組をさらに加速させるもの

<建設キャリアアップシステムの概要>

※システム運営主体
(一財)建設業振興基金

技能者情報等の登録



【事業者情報】

- ・商号
- ・所在地
- ・建設業許可情報 等

【現場情報】

- ・現場名
- ・工事の内容
- ・施工体制 等

【技能者情報】

- ・本人情報
- ・保有資格
- ・社会保険加入状況等

カードの交付・現場での読取



現場入場の際に読み取り

技能者の経験の見える化・能力評価

就業履歴を蓄積

評価基準に合わせてカードを色分け



レベル1 初級技能者（見習い）

レベル2 中堅技能者（一人前の技能者）

レベル3 職長として現場に従事できる技能者

レベル4 高度なマネジメント能力を有する技能者（登録基幹技能者等）

現場管理のIT化・書類削減



見積り・請求のエビデンスとしての活用

施工実績DB・ビッグデータとしての活用